

昭和村教育委員会の点検・評価

(令和 7 年度対象)

令和 8 年 8 月
昭和村教育委員会

I はじめに

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正により、平成20年4月から、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに村民に公表することとされました。

この報告書は、昭和村教育委員会が同法の規定に基づき、令和7年度に実施した施策について点検評価した結果をまとめたものです。

II 点検評価の目的及び方法

1 目 的

昭和村教育委員会が、法の規定に基づき、その権限に属する事務の管理及び執行状況を、自ら点検評価し、その結果を議会に報告し、村民に公表することにより説明責任を果たし、よりよい教育行政を推進していくことを目的としています。

2 点検評価の対象及び方法

昭和村教育行政の重点施策は、昭和村教育行政方針に掲げていますが、本報告書においても、学校教育・社会教育それぞれの事業の点検評価結果の冒頭に示し、令和7年度の主な事務事業の執行状況や成果・課題などを踏まえ、点検評価を行いました。

点検評価の方法は、各校・各団体の年度評価資料をもとに、教育委員会が事業の点検評価を行うとともに、その客観性を確保するために学識経験者からの知見を活用しました。

学識経験者（敬称略）

竹内 貞衛 加藤 由香

Ⅲ 令和7年度 学校教育 事業の点検評価

学校教育基本方針

学習者の多様性を尊重するとともに、学習者の可能性や良さを信じ、支援し、生かす教育を基盤とし、学習者が主語となる学びを工夫・改善することを通して、自律した学習者を育成します。また、「コミュニティ・スクールの良さを生かした教育」の充実により、地域とともにある学校づくりを推進することを通して、自律した学習者を育成します。

自分を信じ、学び続ける自律した学習者の育成 —学習者が主語となる学びの創造と地域とともにある学校づくりを通して—		
(1) 確かな学力の育成 ☐ 学ぶ意義を自覚できる課題解決的単元構想と学習過程の工夫（個別最適な学びと協働的な学びの一体的な学び）の推進 ☐ 特別支援教育の充実	(2) 豊かな人間性の育成 ☐ 生徒指導の推進 ☐ 人権教育の推進 ☐ 読書活動の推進	(3) 健やかな体の育成 ☐ 教科体育の充実推進 ☐ 保健教育の推進 ☐ 安全指導の徹底
(4) 夢や希望を育む教育の推進 ☐ 自分の可能性を信じながら、夢や希望の実現意欲を高める教育の推進 ☐ 自分らしい生き方を求める計画的なキャリア教育の推進		
(5) 家庭や地域社会の連携・協働 ☐ コミュニティ・スクール機能の充実（双方で生かし合う包括的体制） ☐ ためらわない保護者との連携 ☐ 「中学校の部活動の地域移行（展開）」に向けた協議と環境整備		
(6) 学校の「組織の活性化」、「働き方改革」、「教育環境整備の充実」		

(1) 確かな学力の育成

☐ 学ぶ意義を自覚できる課題解決的単元構想と学習過程の工夫（個別最適な学びと協働的な学びの一体的な学び）の推進

東小・昭和中：『県指定研究校：授業改善プロジェクト（国語）』の取り組みより

東小では、児童に学びたいと思わせる単元設定の工夫に取り組みました。また昭和中では、「生徒とつくる適切な単元課題の設定」、「課題解決へのざっくりした見通しをもつ活動」、「生徒自身が友達との交流や教師との話し合いをもちたくなる単元構成」等を核に授業改善に取り組みました。

児童生徒が「悩んだり試行錯誤したりする過程」の大切さを自覚できるよう十分な場と時間を確保した単元構成・環境の工夫、そのうえで効果的な授業運営との両立を図ることが課題となっています。

□特別支援教育の推進

昭和中では、学校の指導・支援内容を「どのように届かせるか」を考え、「どのように届いたか」の確認に至るまで組織的に対応し、迅速かつきめ細かな連携を図っています。また、指導記録の活用や共有を図り、保護者相談時では受容に徹した体制をとっています。

大河原小では、沼田特別支援学校専門アドバイザーの協力を仰ぎ、定期的なコンサルテーションのもと、児童の実態に即した支援の充実を図っています。

児童生徒の個々の実態を踏まえた支援や他者との関わり方・交流の在り方などインクルーシブ教育の充実が課題となっています。

（２）豊かな人間性の育成

□生徒指導の推進 □人権教育の推進

南小では、「行事」や「日常の縦割り清掃」や「学級での係・当番活動」の積み重ねや、委員会主体で行うピアサポート活動を通して、友達の良さを捉えられるようにしたり、他者評価により「自己有用感」を感じ取れたり、友達の良さを認め合ったりできるようにしています。アンケートでは「自分には良いところがある。友達と良いところを伝え合っている（ともに児童回答）」で、85%以上という自己評価を得ています。

課題としては、同一項目において、C、D評価の児童が10%程度おり、集団の中で居づらさを感じている児童も居ることが分かっています。こうした児童の困り感をくみ取り、支援することで、一人ひとりの居づらさを取り除く工夫が必要だと考えています。また、不登校児童や特別な支援が必要な児童の対応についても、解決に向けて外部の手も借りながら組織的に対応する必要性があるとともに、保護者との連携や児童本人への働きかけの難しさを乗り越えていく工夫が必要と考えています。教育委員会も、スクール・カウンセラー、専門家チーム、医療機関等との連携の橋渡しを行いながら支援をしていく方針です。

（３）健やかな体の育成

□教科体育の充実と推進

昭和中では、体力向上プランに基づく教科体育を核とした運動に対する意欲の高揚と体力の向上を図り、「運動することが好きだ（生徒回答）」が86.7%となっています。

□保健教育の推進

昭和中では、事故の未然防止を含む心と身体の自己管理能力の育成を期して、各検診結果の保護者への周知や学校保健委員会での生徒の実態に応じた取り組みや定期発行した保健だより等によって健康に関しての啓発活動を行ってきました。その結果、家庭と連携した健康管理への意識の向上も図られ、「健康を考えた生活習慣を心がけている」と回答した生徒が84.0%、保護者回答が92.7%となっています。今後も、食物アレルギー、熱中症などの事故の未然防止を含む生徒の自己管理能力が育成できるよう、保健委員会による啓発活動を実施する予定となっています。

□安全指導の徹底

県砂防課と連携し、南小・大河原小で防災教育の試験的授業実践を行いました（3学期）。次年度に向けてより計画的・系統的に実践していきたいと考えます。

(4) 夢や希望を育む教育の推進

☐自分の可能性を信じながら、夢や希望の実現意欲を高める教育の推進

☐自分らしい生き方を求める計画的なキャリア教育の推進

東小では、「自己理解や将来の夢などについて考える場面を多角的に設定する」ことを理念として、「東小発素敵な騒ぎ」と名付け、児童が地域住民と積極的に関わる場を設定して、生き方等を考える契機になる活動を進めています。児童がすごいなと思える地域住民との交流が児童のキャリア教育に大きく寄与しており実感を伴った活動であるといえます。「将来の夢・職業等について、家庭で話していますか」という問いに対し、保護者回答で「話している」が70%でした。

(5) 家庭や地域社会の連携・協働

☐コミュニティ・スクール機能の充実（双方で生かし合う包括的体制）

☐ためらわない保護者との連携

東小では、「学校支援ボランティア等を活用して地域と連携した教育活動を行っている」について、昨年度に引き続き 100%の教職員がAと回答しています。学校運営協議会やPTAの会議時に、学校だより等を用いて取組状況・感謝の気持ちをお伝えしていると聞いています。

南小では、97.2%の保護者が「学校と協力して子どもを育てている」と回答しています。外部人材活用やクラブ活動の村行事参加など充実してきています。学校の取り組み状況をさらに家庭や地域にお伝えし、連携の輪を広げていく予定です。

☐「中学校の部活動の地域移行（展開）」に向けた協議と環境整備

昭和中では、部活動の意義を生徒・教職員が実感できる適切な部活動の運営に努力しています。「教育的部活動の目的を自覚し適切な指導をしている（職員回答）」92.9%です。生徒一人ひとりの成長を認めながら継続的に支援し、保護者との連携及び適切な部活動の運営について全職員で共通理解を図りながら今後も取り組んでいきます。生徒自身が部活動の意義を実感できるように、ガイドラインや県教委の通達趣旨を反映した適切な部活動運営を行い、部活動地域展開に向け、地域クラブ・外部団体等の指導者との連携を図っていきます。

(6) 学校の「組織の活性化」、「働き方改革」、「教育環境整備の充実」

南小では、グランドデザインを活用し、学校教育目標と学級目標との関連が見える化し、職員の目指す方向性が一致した学校経営を行っています。その結果、職員アンケートでは、92%（4段階のA・B評価合計）の職員が「自分の分掌においてねらいを意識しながら改善し、全職員の共通理解を図って取り組みを遂行している」、「協働体制で、教育活動の充実や職員の資質向上に向けて取り組んでいる」と答えています。また、大河原小では、職員の参画意識の高揚を図るため、「良い人間関係が生まれる積極的な声かけ」に取り組み、職員の自己肯定感を高めつつ、職員が主体的に学校経営に参画できる実践を行いました。

その上で、「打合せや会議の効率化、情報交換の場づくり、報告・連絡・相談の迅速さや効率化・記録の重要性など」が課題に上っています。

村教委も、「昭和村立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画」を策定し、地域や関係者の理解を得ながら、計画に沿った改善・評価を継続していくことで、

教職員が心身の健康を維持しながら児童生徒に向き合う時間を確保・充実させ、持続的に児童生徒に豊かな学びを届けられる環境づくりを図りたいと考えています（具体的な取り組み：校務支援システム（GG）をはじめとしたICTの導入・活用、高速カラープリンタの全校設置等による事務負担の軽減、清掃作業の簡素化、『学校部活動の地域クラブ展開』開始による教職員の時間創出 等）。

IV 令和7年度 社会教育 事業の点検評価

社会教育行政方針

急激な社会変化に柔軟かつ主体的に対応していくためには、生涯にわたって学び続ける意欲と態度が大切です（自律した学習者）。その一貫した姿勢は村民一人ひとりの「自律（自立）」と「共生」と「創造」の姿勢につながるとともに村の活力となります。そこで、全ての村民が、健康で、生きがいのある生活を目指して、誰もが学べるよう、教育機能の総合的な整備・充実に努め、関係教育機関及び団体との密接な連携協力のもと、次の施策を推進します。

生涯にわたって学び続ける社会教育の推進	（１）生涯学習推進体制の充実 子どもから高齢者まで、住民一人ひとりが、それぞれの年代や価値観に応じて主体的に学べる生涯学習社会の構築を目指し、住民と行政が連携しながら生涯学習の推進に努めます。
	（２）家庭や地域の教育力の向上 家庭や地域社会の教育力の向上を目指して、地域の人材や教育資源を活かした自然体験や社会体験ができるように体制づくりや交流・学習機会の充実に努めます。
	（３）文化・芸術の振興 村民が主体的に学んだ成果等が、村民に広く共有・反映されるように、文化祭や芸能祭等、発表・活動の場や機会の提供に努めます。
	（４）スポーツの振興 子どもから高齢者まで年齢や体力に応じて、いつでもスポーツやレクリエーション活動を楽しみ健康を維持するとともに、スポーツの良さ（交流・競技ルールの意味等）が深められるように、スポーツの振興に努めます。 「中学校の部活動の地域移行（展開）」に向け、推進協議会を中心に協議し、環境整備の推進を行います。
	（５）公民館活動の充実 公民館機能を整備し、住民の多様化する学習ニーズに対応できるよう施設整備や図書室の蔵書の充実を進め、地域クラブ活動の拠点として利用促進に努めます。
	（６）学校運営協議会機能を生かした生涯学習・社会教育の充実 学校と地域が連携・協働して学校づくりを行うコミュニティ・スクール（学校運営協議会）活動のさらなる充実を図り、家庭や地域社会の教育力の向上を推進します。

(1) 生涯学習推進体制の充実

① 生涯学習機会（提供）の推進

○ひまわり大学の実施（村内に居住する20歳以上の女性を対象に、女性の現代的課題に沿った学習講座の開設）

開 催：年6回、受講生：19人

内 容：こんにゃく料理教室、姿勢チェック&セルフケアをご紹介、ミニ門松作り、モルック教室、16ミリフィルム映画会、寄せ植え教室

○いきいき塾の実施（村内に居住する60歳以上の方を対象に、家庭生活、文化及び教養に関する学習講座を開設）

開 催：年3回、受講生：6人

内 容：Amazon 教室・携帯相談会

② 人権教育の推進

○生涯学習大会

開 催 日：令和8年2月14日 会場：昭和村公民館多目的ホール

内 容：いじめ防止活動の取組発表（発表者：大河原小学校代表児童3名）

参 加 者：100人

○人権講演会

開 催 日：令和8年2月14日 会場：昭和村公民館多目的ホール

講 師：吉田 恵里香 先生

演 題：努力が認められる社会を目指して ～脚本家が語る 作品に込められた思い～

参 加 者：100人

【具体的な取り組みと評価】

ひまわり大学、いきいき塾、生涯学習大会・人権講演会等を開催し、住民一人ひとりが、それぞれの年代や価値観に応じて主体的に学べる生涯学習の推進が図られました。

【課題】

世の中が多様化していることや、集客率が低下しているため、参加者のニーズの把握や来場者を増やすための周知方法を検討する必要があります。

スマートフォンの使用方法がわからないまま使用している方、使用方法を聞く相手がいない方が多く見受けられたため、参加者の悩みを解決する場の提供が必要と考えます。

(2) 家庭や地域の教育力の向上

① 「しょうわ子ども教室」事業の推進

○しょうわ子ども教室事業の実施（放課後子ども教室）

・東小子ども教室（毎週水曜日） 年15回、参加者 616人

・南小子ども教室（毎週金曜日） 年19回、参加者1,066人

・大河原小子ども教室（毎週木曜日）年20回、参加者 429人

○週末体験教室の実施

・全児童対象 年7回 参加者92人

・おやこ料理教室、寄せ植え教室、和菓子作り教室、生け花教室

② 夏の青少年健全育成大会の実施

開催日：令和7年7月14日 会場：昭和村公民館多目的ホール
講師：利根教育事務所 生涯学習係 社会教育主事 高橋 健司 先生
演題：「地域全体で未来を担う子どもたちを育むために」
参加者：61人

③ PTA活動の推進

○地域との協力連携体制づくり

○PTA連絡協議会

総会：令和7年6月13日 会場：昭和村公民館大会議室

○村P連セミナー

開催日：令和7年9月11日 会場：昭和村公民館多目的ホール
講師：株式会社晃希 代表取締役 高橋 将弘 先生
演題：「心のあり方」と「変革のヒント」

④ 青少年関係団体との連携

○青少年育成推進委員（21人）

○朝のさわやか声かけ運動 毎月第1金曜日 各小中学校正門等

○下校時パトロール 学期毎に1回実施 各小学校

○子ども会育成会連合会（20地区）

総会：令和7年4月10日
上毛かるた大会：令和7年12月6日 会場：東小体育館
参加者数（団体30チーム、個人31人）
上毛かるた郡大会：令和7年12月13日 会場：川場村武道館武道場
昭和村より3地区15人参加
村卓球大会：令和8年2月7日 社会体育館
参加者数（11地区40人）
上毛かるた県大会：令和8年2月15日
群馬総合スポーツセンター A L S O K ぐんま武道館
昭和村より個人2人参加

⑤ こども映画教室

開催日：令和7年11月14日～16日
参加者数：小学生18人、ボランティアスタッフ5人
内容：小学生向け映画製作ワークショップ（昭和村を舞台に子どもたちだけで、お話づくり・撮影・編集・上映までを行う）

⑥ はたちの記念式典

開催日：令和8年1月11日 会場：昭和村公民館多目的ホール
内容：式典、記念撮影、記念懇談会
参加者数：53人

【具体的な取り組みと評価】

放課後子ども教室や週末体験教室事業、青少年関係では、下校時パトロール、さわやか声かけ運動、子ども会育成会関係では、上毛かるた大会、卓球大会、こども映画教室を開催でき、地域の人材や教育資源を活かした自然体験や社会体験ができるように体制づくりや交流・学習機会の充実が図られました。

【課題】

しょうわ子ども教室事業では子ども教室協働活動サポーターの高齢化に伴い、新たな人員確保や育成をしていく必要があります。

子ども会育成会活動は、子ども会員の減少に伴う参加率の減少や活動が難しくなっている地区が増加していることから、多くの子どもたちが参加できる大会運営方法を考えていく必要があります。

（３）文化・芸術の振興

① 芸術・文化活動の推進

○文化祭の開催

村内保育園・小学校・中学校の児童生徒、文化協会加盟団体等の作品展示、思い出の手ぬぐい展示、本の読み聞かせ、お茶のサービス、書道・囲碁将棋体験、科学教室、古本市、お楽しみ抽選会

開催日：令和７年１１月２２日～２３日 会場：昭和村公民館

来場者数：約７００人

○村民芸能祭の開催

開催日：令和８年３月８日 会場：昭和村公民館多目的ホール

参加者数：約２００人

来場者数：約２８０人

② 文化財の保護と活用

○文化財保護委員会の開催

第１回：令和７年６月１８日 第２回：令和８年３月１８日

○文化財保護委員会視察

開催日：令和７年１０月２４日

場所：大戸関所跡、忠治地蔵（東吾妻町）、東善寺、小栗上野介忠順終焉の地（倉淵町）、松井田城跡（安中市）、上毛新聞印刷センター（伊勢崎市）

○村内指定文化財維持管理、文化祭で出土品展示

○永井地区圃場整備事業に伴う文化財試掘・確認調査（長井坂城跡周辺）

③ 歴史探訪の実施（公民館・文化協会）

開催日：令和７年１０月２１日

場所：栃木県足利方面（足利学校、鏝阿寺、あしかがフラワーパーク、栗田美術館）

参加者数：７７人

【具体的な取り組みと評価】

文化祭、村民芸能祭、歴史探訪を開催できました。

文化祭では作品展示に加え、本の読み聞かせ、お茶のサービス、書道・囲碁将棋体験、科学教室、古本市、お楽しみ抽選会を実施し好評でした。

村民芸能祭では、昭和中吹奏楽部の参加や、椋久保南部森下山道地区に伝わる伝統行事の百万遍が行われ、発表・活動の場の機会の提供が図られました。

【課題】

文化団体会員の高齢化により各文化団体の会員が減少しています。

また、各地区での祭り等がなくなっていくので伝統の継承方法、発表の場の確保が必要と考えられます。

(4) スポーツの振興

① 種目別スポーツ大会・教室の開催

② 生涯スポーツの推進

○小学生への体を動かす機会の提供

- ・放課後子ども教室 年5回（長縄跳び、ストラックアウト、ドッジビー等）
- ・大河原小学校スポチャレの補助 年4回（モルック、ドッジビー、ポッチャ等）
- ・大河原小学校体力測定会の補助

○スポーツ医科学講演会

開 催 日：令和8年2月28日 会場：昭和村公民館多目的ホール

講 師：公認スポーツ栄養士 群馬県栄養士副会長

公立碓氷病院 診療技術部 栄養科 上原 由美 先生

演 題：「少年期における体づくり」～親子で知っておきたいスポーツ栄養・食事学～

参加者数：33人

③ 社会体育施設、ふれあいグリーンパークの維持管理

- ・総合運動公園内サッカーゴールの入替（1台）
- ・社会体育施設照明LED改修工事
- ・総合運動公園（テニスコート・多目的グラウンド・野球場）、昭和中グラウンド、多目的屋内運動場

④ 「中学校の部活動の地域移行(展開)」に向けた協議と環境整備

○学校教育（5）に記載

【具体的な取り組みと評価】

バレーボール大会、ピンポンフェスティバル等の各種大会や教室の開催、スポーツ推進委員による小学生への体を動かす機会の提供など、様々な活動に取り組み、多くの村民がそれぞれの体力や年齢に応じて、いつでもスポーツ・レクリエーション活動を楽しむことができました。

また、村内体育施設照明のLED改修工事を実施し、施設の環境整備に努めました。

【課題】

スポーツ協会会員の高齢化により団体の会員が減少しています。

施設や備品が経年劣化により老朽化が進んでいるため、計画的に修繕や整備を図っていきたいと思います。

(5) 公民館活動の充実

① 公民館機能の充実

○公民館事業の開催

「しょうわ夏の映画まつり」

開催日：令和7年7月18日 会場：昭和村公民館多目的ホール

上映：野生の島のロズ

参加者数：127人

「公民館講座」

- | | | |
|-------------|-------------------------------|----------|
| ・耳つぼジュエリー教室 | 開催回数：1回 | 受講者数：9人 |
| ・科学教室（文化祭） | 開催回数：1回 | 受講者数：49人 |
| | （内容：第一部「スライム作り」、第二部「サイエンス工作」） | |
| ・着付け教室 | 開催回数：1回 | 受講者数：4人 |

「しょうわ映画祭」

開催日：令和7年12月11日 会場：昭和村公民館多目的ホール

上映：「お終活 再春！ 人生ラブソディ」

参加者数：63人

「わたしと家族作文発表会」

開催日：令和8年1月24日 会場：昭和村公民館多目的ホール

作文発表：優秀賞受賞児童生徒7名

参加者数：100人

○図書室の改善及び蔵書の充実

令和7年度購入図書数 268冊 蔵書数 13,068冊

② 公民館施設の維持管理

- ・公民館周辺の整備（除草、剪定作業等）
- ・公民館トランス更新工事

③ 安全管理

- 利用者・関係者の安心・安全を第一とし、日常的及び状況に応じた感染予防

【具体的な取り組みと評価】

映画、公民館講座、わたしと家族作文発表会を開催できました。しょうわ夏の映画まつりでは「野生の島のロズ」、しょうわ映画祭では「お終活 再春 人生ラブソディ」を上映し、昨年より多くの方にご来場いただきました。

文化祭の際に実施した公民館講座「科学教室」では、当初予定していた人数より20名ほど多く参加していただき、子どもも保護者も充実した時間を過ごしていました。

図書室の蔵書整理のために、文化祭で古本市を実施し 53 人の方に 266 冊の本が譲渡されました。それをきっかけに図書室前に除籍本の棚を設けたところ、利用者が持ち帰る機会が増えました。

【課題】

令和 8 年 4 月 1 日より公民館がコミュニティセンターへ移行しますが、これまで行っていた公民館事業を継続して開催できるよう文化協会等の関係団体と連携し取り組む方針です。

映画祭については来場者数を増やすために、対象者となる村民に作品アンケートを実施し、日時の周知と映画祭の認知度を上げていく必要があると考えます。特に昨年は中学生の参加が少なかったため、中学生にも興味を持ってもらえる周知方法が必要と考えます。

また、公民館の施設設備が経年劣化により老朽化が進んでいるため、計画的に修繕や整備を図っていきたいと思います。

(6) 学校運営協議会機能を生かした生涯学習・社会教育の充実

小中学校で 5 3 名を学校運営協議会委員に任命

各小中学校で年間 4 から 5 回の運営協議会を開催

【具体的な取り組みと評価】

村内小中学校で 5 3 名を学校運営協議会委員に任命しました。各小学校で年間 4 回から 5 回の運営協議会を開催し、学校と地域が連携・協働して学校づくりが行えるよう協議を行いました。

【課題】

学校と地域が連携・協働していけるよう学校運営協議会を機能させる必要があると考えられます。